

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	企業経営研究 (Business Management)					担当教員	高橋 哲郎 (タカハシ テツロウ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/ 外部講師招聘科目
	2037-2-23-105	専門科目	選択	2単位	2年次	後期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/ 外部講師招聘科目
	2437-2-23-044	専門科目	選択	2単位	2年次	後期		

① 授業のねらい・概要										
<p>本講義は、長岡大学と新潟県・県内企業との連携による実践的講座として位置づけられる。企業経営の基本理論（戦略・組織・マーケティング・財務）を学ぶとともに、新潟県内で活躍する若手経営者等を講師とした講義を通じて、現実の経営課題を多角的に理解することを目的とする。</p> <p>なお、講義の順序、内容は変わることがある。</p>										
② ディプロマ・ポリシーとの関連										
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力を養う。										
③ 授業の進め方・指示事項										
講義は担当教員による基礎講義と、外部講師による実務講義を組み合わせて行う。各回、事前学習・事後課題を課し、アクティブラーニング型の理解定着を図る。										
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能										
夏季集中講座「起業家塾」を履修することが望ましい。										
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。										
テキスト指定なし。 授業開始時にインターネット上の教材フォルダから関連資料を閲覧する方法を指導する。										
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。										
伊丹敬之『経営戦略の論理（第4版）』日本経済新聞出版社										
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）										
学生の理解度・習熟度を確認し、具体例をまじえつつ講義を進めていく。										
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安										
<p>(1) 企業経営の基本理論を用いて、具体的な企業事例を論理的に説明できる。</p> <p>(2) 外部講師の講義内容を整理し、経営課題と改善策を自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>(3) 複数の経営視点（戦略・組織・財務等）を関連づけて考察できる。</p>										
⑨ ルーブリック										
評価基準	S		A		B		C		D	
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している		到達目標を達成している		到達目標達成にはやや努力を要する		到達目標達成には努力を要する		到達目標達成には相当の努力を要する	
(1) 理解力：講義内容の理解度	講義内容を応用し独自の視点で説明できる		講義内容を用いて適切に説明できる		概ね理解しているが説明に不足がある		理解が不十分で誤りが見られる		理解が著しく不足している	
(2) 思考力：課題に対する論理的考察	複数の理論・事例を関連づけ、独自の視点で一貫した考察ができていく		理論や事例を用いて、論理的に課題を考察できている		一定の考察はできているが、論理展開に不十分な点がある		考察が表面的で、根拠や論理性に欠ける		課題に対する考察がほとんど見られない	
(3) 表現力：文章・発表での表現の適切さ	構成・表現ともに非常に明確で、第三者にも理解しやすい		主旨が明確で、適切な文章・表現で説明できている		概ね理解可能だが、表現や構成に分かりにくい点がある		文章・表現が不十分で、内容理解が難しい		文章・発表として成立していない	
⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法										

学習到達目標（評価項目）	定期試験 （レポート含む）	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	60%		30%		10%		100%	
(1) 理解力	20%		10%		4%		34%	
(2) 思考力	20%		10%		3%		33%	
(3) 表現力	20%		10%		3%		33%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	イントロダクション -授業の進め方と評価方法の説明	C ラーニングによる出席確認、教材閲覧、協働板への書き込み、担当教員への連絡・相談方法を理解する						90分
2	◆外部講師① 天領盃酒造株式会社 代表取締役兼製造責任者 加登 仙一 氏 「破綻した天領盃酒造の事業再生」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
3	◆外部講師② 株式会社 Riparia 代表取締役 CEO 室田 雅貴 氏 「一步を踏み出す勇氣」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
4	◆外部講師③ 株式会社ユニークワン 代表取締役社長 立川 和行 氏 「農家のせがれが IT ベンチャーを起業した話」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
5	◆外部講師④ 株式会社プラントフォーム 代表取締役 CEO 山本 祐二 氏 「広告業界から IT 業界へ そして今、農業を仕事にしている理由」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
6	中間まとめ	講義の復習（2回～5回講義内容の復習） レポート作成						90分
7	◆外部講師⑤ オフィス Hanako 代表取締役 渡辺 さゆり 氏 「建築業 × 起業精神 0 から事業をつくる考え方」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
8	◆外部講師⑥ 地域イノベーション共創基盤株式会社 代表取締役 石川 翔太 氏 「新潟発イノベーションの姿と可能性」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
9	◆外部講師⑦ 株式会社スマイルファーム 代表取締役 CEO 安達 里枝 氏 「イカ刺し定食がきっかけで人生とビジネスが大変革した話」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
10	◆外部講師⑧ 株式会社ういるこ 代表取締役 山本 麻希 氏 「野生動物と人間の共存を目指して」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
11	◆外部講師⑨ きら星株式会社 代表取締役 伊藤 綾 氏 「過疎地のまちづくりでも稼げる会社をつくる」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
12	◆外部講師⑩ 妻有ビール株式会社 代表取締役 高木 千歩 氏 「100年続くビール蔵を越後妻有に」妻有ビールプロジェクト」	講義内容の感想、質問を作成する						90分
13	後半のまとめ	講義の復習（7回～12回講義内容の復習） レポート作成						90分

14	全体のまとめとディスカッション（1） 学生による発表	講義の復習（これまでの内容の総復習）	90分
15	全体のまとめとディスカッション（2） 学生による発表 期末試験出題範囲の案内	講義の復習（これまでの内容の総復習）	90分
⑫ アクティブラーニングについて			
<p>外部講師招聘し、知識定着・確認型ALを採用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回講義後に課題・問題を考え、作成することにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。</li> <li>・前回講義受講後に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容についてフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。</li> </ul>			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性